

学校第1号議案 令和2年度事業報告の承認に関する件

平成31年度事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

本校は、全国でも珍しい「組合立」の学校として、奈良県内の若年者を中心に「県内で育て、県内で働く」ための職業(美容)教育に努め半世紀以上が経過しました。その歴史には、常に子どもたちが未来への希望に向かう姿と満ち溢れる笑顔がありました。しかし、47年間減少し続ける出生率に加え、若者の大都市・大学進学志向が根強い状況下に加え、昨年実施された「高等教育の就学支援制度」により、高等学校における就職・進学状況が歴史的に大きく変化し、専門学校における教育・経営に大きな課題を残しました。また、昨年度末には「新型コロナウイルス感染症」における様々な対応が学校に求められましたが、危機管理などの対策を日頃から講じてきた経緯があり、大きな混乱もなく学校運営を継続することができました。

本校は、次世代を担う人材育成の基盤整備と強固な教育体制の構築を目指し、昼間課程・通信課程・高等学校連携事業・委託訓練事業の4つの教育事業を実施しています。昼間課程では、橿原市との「神武祭」や「なら技能フェスティバル」などに参加し、地域との連携を強め、ボランティア活動の大切さと「自主・責任」の精神を培うことができました。更に、「長期訓練事業(職業訓練)」の参入により、高等学校からの進学者に加え、求職者への案内が可能となり、入学者層の縦軸である年齢に多様性が生まれ、新たな教育の舞台が整備されました。

通信課程では、美容従事者を中心に国家試験の合格システムが構築され、安定的に高度な学習が行われ合格率も高い水準を維持できるようになりました。また、高等学校連携事業では、奈良県立二階堂高等学校との職業観育成支援プログラムにより、組合員様の美容室に全生徒が就職するなど、2年目の大きな成果を残すことができました。また、4年目に入った三重県立あけぼの学園高等学校ダブルスクール生においては、国家試験合格へのプロセスとして、学科対策を強化し大きな結果に結び付けることができました。

4つ目の事業としての委託訓練は、安定的に高い就職実績と関連資格(民間)で100%の合格率を維持しております。さらに、稼働率・募集状況も安定した1年となりました。

最後に、全国に約二百六十校ある美容師養成施設のうち十数校が「組合立」として、長い歴史と伝統を守り、高い技能教育を実施しています。今後も、本校が持つ「組合立」の利点を最大限に発揮できるよう、設立者である組合員の皆様方と連携を取り、将来の地域の美容業を担う美容人の育成、そして「櫛美」の愛称と伝統を守れるよう、今後ともご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。